

番組審議会 第651回

開催日 2021年7月12日(月)

■委員の出席

委員総数 10名
出席委員数 10名

出席者

委員長 音 好 宏
副委員長 中 江 有 里
委員 江 澤 佐知子 尾 縣 貢
萱 野 稔 人 喜田村 洋 一
佐 藤 智 恵 長 嶋 有
藤 原 帰 一 水無田 氣 流

TBSテレビ 佐々木 社 長
渡 辺 常 務
伊佐野 常 務
岩 田 取締役
瀬戸口 編成局長
宮 崎 メディア企画室長
富 澤 メディア企画室担当局長
高 澤 メディア企画室担当部長
林 メディア企画室
中 田 編成考査局長
村 田 編成考査局視聴者サービス部長
天 野 番組審議会事務局長

■議事概要

1. 審議事項
 - (1) 「同時配信の現状と課題」について報告
 - (2) その他
2. 事務局報告事項
 - (1) 視聴者からの声について
 - (2) 次回審議会の議題及び日程について

【委員の主な意見】

(「同時配信の現状と課題」について)

□特に報道番組など、裏をきちんと取って責任あるプロが配信する基本姿勢に
返りつつも、ネット検索の感覚でコンテンツを消費する若年層の視聴のあり方
を念頭に置くべき。

□テレビの同時配信には随分時間がかかったが、早く切りかえておかないと、
大きな影響力の損失を見ることになるかもしれない。

□ゼロ歳から 9 歳までの幼児期に、コンテンツに親しませる意識も必要ではな
いか。

□DXを早くやった企業が勝つ。早めに自社サイト、自社アプリで、プラット
フォームを構築し、同時配信を進めるのが望ましい。

□著作権法が改正されたが、実際に権利クリアランスがどう行われるのか、非
常に不安が残る。

□テレビ局は、どんなメディア視聴にも耐えうるコンテンツ制作力を持つ企業
体へと、変質していかざるを得ないと思う。

□スポーツの場合、終わった競技の結果を聞いてしまうと見る意欲は半減する
ので、同時配信は重要だ。

□子を持つ親世代でも、テレビを持たない人が多い。携帯などで動画やニュー
スを見ている人も多いが、親世代を取り込むのは、重要だと思う。

□音楽番組でのライブ配信への課金や、ドラマのスピンオフでの視聴者参加な
ど、新たなシステム構築を考えても良いのではないか。

□同時配信は、10 年前のアナログ停波と同じような、非常にドラスティックな
ことではないか。波高しだが、逃げるできない、目の前の議論だと思う。

*TBSでは、番組審議会委員のご意見を真摯に受け止め、今後の番組内容
の向上に活かしていく所存です。(TBSテレビ番組審議会事務局)